



離婚しても

パパ、ママ、私たちを育ててね



2014 秋

面会交流支援を利用される子どもたちの大半は、0歳から2歳の乳幼児期。幼すぎて父母の顔を覚えていないから面会交流をしない方が良いのではないかと親とその周りの大人たちは言います。親が親としての責任と義務を『子どものため』と簡単に放棄させてしまう社会で、いかに面会交流の必要性を伝えていくのか。「子どもの権利条約」をもとに福田雅章先生に教えて頂きます。

また、親が親としての責任と義務を果たせなかったとしても、子どもは親が苦しんでしまうことに同情し、親の責任を指摘することが出来ず、悪いのは親ではなくて自分なのだという意識を拭い去れません。面会交流支援を通して支援者たちは、どのように子どもたちと父母の関係性を再構築していけば良いのでしょうか。現場で実践出来る支援の在り方を木附千晶先生に教えて頂きます。

日蓮宗助成金申請中 いのちに合掌

後援予定/日蓮宗宗務院



【第1部】

福田 雅章 先生

一橋大学名誉教授。DCI(子どもの権利のための国連NGO)日本支部代表。専門は刑事法、子どもの権利論。ハーバード大学ロースクール大学院修了。国連子ども特別総会日本政府代表顧問。著書に『日本の社会文化構造と人権』(明石書店、2002年)、『「子どもの権利条約」絵事典』(PHP研究所、2005年)など。

第1部 13時30分～14時30分

福田 雅章 先生
「乳幼児期の子どもの権利を
大人は認識していますか？」

第2部 14時45分～15時45分

木附 千晶 先生
「面会交流による愛着形成について」

第3部 意見交流会

※対象者 面会交流支援者、育児支援者



【第2部】

木附 千晶 先生

アライアント国際大学/カリフォルニア臨床心理大学院修士課程修了。DCI(子どもの権利のための国連NGO)日本運営委員、子どもの権利オンブズマン委員、『子どもの権利モニター』編集長。臨床心理士。文京学院大学非常勤講師。IFF・CIAP相談室サイコセラピスト。ジャーナリストとしての経験を活かし、社会・心理学的視点で執筆を続ける。

2014. **11.22** (土)

- **会 場**: 日蓮宗佛心寺 本堂
東京都台東区谷中1丁目5の35
- **時 間**: 13:30～
- **参加費**: 3,000円